

委員会の活動

企画総務委員会

開会日 2月20日(木)

3月24日(月)

3月28日(金)

案件 議案14件、報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
平成25年度墨田区一般会計
補正予算

臨時福祉給付金給付事業費、財政調整基金積立金などを追加する一方、特定緊急輸送道路沿道建築物耐震化促進事業費、職員給与費などを減額し、差引き7億9670万円を減額する

学校施設維持管理費の余剰金は学校トイレの改修に優先して充当を

問 学校施設維持管理費は約7700万円の余剰が出ている。学校に充てた予算が余ったのだから、学校トイレの改修に優先的に充当するような補正予算を組んでほしかった。少しでも前倒しでトイレ改修を行ってほしいが意気込みを伺う。

答 トイレの改修は極力早めに終了させたい。

臨時福祉給付金の具体的手続きは

問 臨時福祉給付金は申請主義ということだが、具体的な手続きについて説明を。また、業務委託費が事務費の大半を占めるが、どのような業務を委託するのか。

答 区内に1月1日に居住している方が対象となる。詳細は今後検討していくが、今までなかった非課税

通知を出すことにより、給付対象となる可能性があること、税情報開示の承諾をいただければ区で調べますというお知らせをする方法が考えられる。また、委託内容については、コールセンター業務のほか、併せて窓口支援に係る業務も委託したいと考えている。

北斎に関する基金について伺う

問 北斎基金積立金として約3億3000万円計上しているが、財源の内訳は。また、北斎資料取得基金と近い将来統合するのか。

答 財源の内訳は、文化観光基金からの繰入れが1億5000万円、一般の寄付が500万円、その他地域の元氣臨時交付金に当たるものが約1億7500万円である。また、北斎資料取得基金は北斎基金のような積立基金ではなく、買いたいものが出てきたときにすぐに購入できるように設置した、定額運用基金である。しばらくはこのまま残しておきたい。

可決
墨田区水と緑のまちづくり
基金条例(新設)

倉持福子氏から遺贈された財産を水と緑を生かしたまちづくりに関する事業に係る資金に充てるため、基金を設置する条例

遺贈者の考えを十分生かせるような使い方をしてほしい

意見 遺贈者は特に使途を指定していないとのことだが、基金を有効に使うためにどのようなまちづくりをしていくのか。水と緑のまちにしておく手法をこれから考えていくに当たり、遺贈者の考えを十分に生かせるような使い方をしてほしい。



可決
墨田区職員定数条例
(一部改正)

業務の民間委託の推進、事務事業の見直し等により、区職員の定数を20人減らして1895人とする

本当に行財政改革になっているのかの判断材料がほしい

意見 条例改正の否定はしないが、正規職員が減る一方で、委託費が増えているのではないか。議会として行財政改革を評価するために、職員定数と委託費の推移、再任用職員と非常勤職員の状況などの資料を要求する。

無理な定数削減には反対する

意見 墨田区は生活保護のケースワーカーの人数が少ない。区の現場の仕事というのは、幅広い知識と専門的な知識が求められ、経験が非常に大事である。経験が蓄積されて継承されていくような人事政策が求められており、行財政改革を理由に、無理に定数を削減するのは反対である。

区民文教委員会

開会日 2月20日(木)

3月13日(木)

3月28日(金)

案件 議案9件、報告1件

◆主な審査状況を紹介します。

可決
墨田区北斎基金条例(新設)

すみだ北斎美術館の整備や運営に必要な費用に充てるため、寄付金などを積み立てる基金を設置する条例

税外資金を集め、区の財政を圧迫しないように

意見 できる限り税外資金を集めて、区の財政を圧迫しないようにしてほしい。寄付金の受け皿になる基金なので、条例に賛成である。

美術館建設は、区民が求めてきたものではない

意見 北斎美術館建設事業の経費は総額63億円に上る。この建設事業は、区民が求めてきたものではなく、容認できない。条例には反対である。

区長の決意を聞きたい

問 平成26年度予算案が予算特別委員会でも可決された。これで寄付を募る体制が整う。区長の決意を聞きたい。

答 北斎美術館は区民の誇りとして永く存在する施設で、地域振興やまちづくりにも寄与する。区民負担を少なくするために寄付を集めたい。政治生命をかけて全力で取り組む。

トリフォニーホールにも寄付を

問 トリフォニーホールなどについても寄付を集めたらよいのでは

答 音楽ファンに訴えていくことは意味があると思う。今後十分に検討する必要がある。

否決
墨田区就学援助費支給条例
(新設)・・・議員提出議案

経済的理由で義務教育を受けることが難しい児童・生徒の保護者に対し、就学に必要な経費を援助する条例

なぜ条例にするのか

問 今まで区の要綱で支給していた問題がなかったのを、なぜ条例にしなければならないのか。

答 要綱は区の内部指針・基準で、区長の政治姿勢などに影響される。条例にすることで保護者が就学援助を受ける権利が明確化され、就学援助を確実に実施する義務が区長に生じる。

可決
墨田区国民健康保険条例
(一部改正)

国民健康保険に関する23区の共通基準に基づき、保険料率を引き上げるなどの改正を行う

区民負担の増をどう考えるのか

問 高額療養費を保険料算定に算入することにより保険料率を引き上げることだが、墨田区民の負担増が年平均3373円にもなると聞いている。どう考えているのか。

答 国保の広域化に備えて高額療養費を算入することで、保険料は上がっていく。広域化は国により決め

られているので、やむを得ない。

議会に情報提供を

意見 区が23区統一保険料方式からはずれた場合、区民負担がより大きくなるため賛成せざるを得ないが、保険料率等が決まるまでの過程の情報を、統一保険料方式だからといって議会に提供しないのは、改めてほしい。

国保の広域化で23区の立場はどうなるのか

問 国保の広域化で都道府県が事業主体になったとき、23区それぞれの立場はどうなるのか。区議会議員が直接質問や議論をできるのか。

答 広域化すると東京都が主体的に運営するため、区民の声が届きにくくなるという話がある一方、国民が医療を受ける権利を保障していく観点からは、広域化したほうがベターではないかと考えている。



ホームページのご案内

墨田区のホームページから「すみだ区議会」にアクセスしてください。

- 会議日程
- 議員名簿
- 議決した議案(各議員の賛否の状況)
- 請願・陳情(提出方法、審査状況)
- 会議録の閲覧・検索(本会議や委員会でのような議論がされたのかご覧いただけます。)
- 本会議などの映像配信

産業都市委員会

開会日 3月20日(木)

案件 議案4件、報告2件

◆主な審査状況を紹介します。

否決
墨田区商店リフォーム等助成
条例(新設)・・議員提出議案

区民が利用しやすい良質な店舗の形成及び魅力ある商店づくりを支援し、地域経済の活性化を図るため、店舗のリフォームや増築などを行う者に対し助成金を交付する条例

国の新たな制度を活用してはどうか

問 国が新たに創設した小規模事業者向けの補助制度を活用したほうが効果的なのではないか。

答 国の制度は助成の内容が狭くなく、共産党としてはもつと広範に地域経済の循環を確立するために条例提案をしている。

区内にどのような効果を及ぼすと考えるのか

問 この条例を制定することで、本区にどのような効果があるのか。また、予算規模はどのぐらいを想定しているのか。

答 リフォーム工事の施工業者については、原則として区内事業者としており、地域循環型経済の構築が図られると考える。予算規模については5000万円を予定している。

意見 国の動向を注視するとともに、本区がこれまで行ってきた成果を検証して、墨田区らしい仕組みを考える必要がある。

まち並み全体が変わるような施策の展開を

意見 方向性は間違いないと思うが、まち並み全体が変わるようなりフォームであれば良いと思う。

可決
墨田区高齢者個室借上げ住宅
条例(一部改正)

高齢者個室借上げ住宅の使用予定者について、抽せんのみにより決定する方法から、抽せんにより選定した者のうち、住宅の困窮度が高い者を優先して決定する方法に改める

「採点の見える化」とは

問 抽せん方法がポイント制になり、採点の見える化を図ることだが、具体的にはどのようなことになるのか。

答 選定における点数とともに選定に関する要領も公開していく。

混乱が生じないよう区民にきちんと周知すべき

問 抽せん方法が複雑になるが、混乱が起きないように何らかの対策は考えているのか。

答 抽せんの方法などを事前に公表して、応募する人がきちんと分かるように周知していきたい。

福祉保健委員会

開会日 3月17日(月)

3月28日(金)

案件 議案3件、陳情2件
報告5件

◆主な審査状況を紹介します。

不採択
介護予防給付からの要支援者の除外反対に関する陳情

介護保険制度の要支援者に対する予防給付を地域支援事業に移行せず、今までどおり行うよう求めるもの

介護サービスの質・内容を落とさずに区民負担が軽減できれば制度改正も意味がある

意見 今回の制度改正は、保険料の抑制につながることに、サービスの質・内容を落とさずに区民負担を極力減らしていくという趣旨であると思われ、しっかりとチェックしていけば、意味のある改正だと考える。まだ具体的に決まっていない部分が多いので、今後の経過を見つつ、今の時点では不採択としたい。

この陳情を採択し、速やかに国に意見書を提出すべき

意見 制度改正を許したら、相当な額の自治体負担となり、自治体の財政状況によって、介護サービスに格差が生じることになる。採択し、国に対して速やかに意見書を提出すべき。

採択
ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情

ウイルス性肝炎患者に対するウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設するよう求めるもの

早急な国の支援を求める

意見 肝炎ウイルスの感染被害の拡大を防止し得なかったことについては、国も責任を認めており、早急に国が支援するよう求める。

早期発見・早期治療も重要である

問 区で実施している肝炎ウイルス検診の受診者数が減少していると聞いている。どのような問題意識を持っているのか。

答 受診者数はここ数年間、年300人前後である。現在は、区のお知らせやホームページなどで案内しているが、今後も周知に努めていく。

報告
臨時福祉給付金(簡素な給付措置)の支給について

消費税率引上げに伴う対応として、国が暫定的・臨時的に実施する給付金の支給について、その概要等の報告対象者に漏れがなく支給されるよう周知徹底を

問 臨時福祉給付金の申請に当たって、支給対象者である区民税の均等割非課税の方に対しては全員に通知することだが、未申告の方に対しては漏れなく対応できるのか。

答 未申告の方へは、税務課と連携し、区民税の申告の呼びかけを行なうタイミングに合わせて周知していく予定である。

行財政改革等特別委員会

開会日 3月26日(水)

墨田区行財政改革実施計画(平成23年度～平成27年度)の取組成果(平成24年度)について

墨田区行財政改革実施計画(平成23年度～平成27年度)の21課題のうち、行政評価制度の活用、公共施設の見直し、区政情報の共有、民間活力の積極的な活用、事務事業・補助金の再編整理など、平成24年度における主な課題の取組成果について報告がありました。委員からは、行政評価シートの見直しに伴う区民への公開の提案や、人材育成の強化などについての質疑・意見がありました。

墨田区公共施設マネジメント
実行計画 素案について

墨田区公共施設白書で明らかになった分析・評価結果や課題を踏まえて公共施設マネジメント実行計画を策定し、今後は施設の適切な維持管理や運営方法の見直しなど、公共施設マネジメントの取組を実践していきたいとの報告がありました。

委員からは、区民施設の地域の実情にあった活用の実行や、財源確保などについての質疑・意見がありました。

都市開発・災害対策特別委員会

開会日 3月27日(木)

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業における促進連絡協議会の設立について

連続立体交差事業の推進に当たって、国などの関係機関に対して、支援制度の拡充要望などをしていく必要がある

ことから、墨田区議会において立体化促進議員連盟を設立し、地元住民による協議会、行政と三者が一体となって促進連絡協議会を構築し、今後は、要望活動を更に強力に推進していきたいとの報告がありました。

委員からは、東京都の負担割合の引上げを求めることや、今までの要望活動などについての質疑・意見がありました。

東武伊勢崎線(とうきょうスカイツリー駅付近)連続立体交差事業に関する「基本協定書」の締結について

都市計画決定や事業化に向けて、墨田区と東武鉄道株式会社の双方が相互協力しながら、連続立体交差事業を円滑かつ効率的に推進していくことを確認するための基本協定を速やかに締結したいとの報告がありました。

委員からは、東武鉄道株式会社に対して、事業への協力や応分の負担などについて協議を行うことなどについての質疑・意見がありました。



鐘ヶ淵通り(補助第120号線)の都市計画道路事業の認可について

鐘ヶ淵通りにおける事業未着手区間(530m)について、東京都が都市計画道路事業の認可を取得し、道路拡幅事業に着手することになったとの報告がありました。

委員からは、今後、沿道のまちづくりを進めていくにあたり、東京都に対して積極的に働きかけるなど、相互に情報交換を行うことなどについての質疑・意見がありました。

予算特別委員会のもよう

賛成 自由民主党

■公共施設マネジメント実行計画策定作業の遅れに対し猛省を促す。区は本当の意味で観光都市であるのか疑問である。平成26年度は結果を出さなければならぬ。また、東京オリンピック・パラリンピック開催に向けての対応も早期に取り組まれない。

■平成27年4月には保育所待機児童ゼロを達成すること。

■小・中学校のトイレ改修については、改修方法を工夫し、計画を作成の上、3年間で完了することを強く要望する。

■すみだ環境ふれあい館の大規模改修事業費については、新計画が議会で理解を得られるまで執行凍結を求める。また、すみだ北斎美術館については、財政負担を最小限とするために寄付金を集めることを求め、この寄付金の収納状況を運営計画及びすみだ北斎美術館を中心としたまちづくり計画について、定例会ごとに議会報告する等の付帯決議を付す。

賛成 公明党

次の点を区側に求め予算案に賛成する。

■すみだ環境ふれあい館大規模改修事業費については、議会の同意を得られるまで執行しないこと。

■すみだ北斎美術館建設計画は、多くの方々から寄付を募ることや、すみだ北斎美術館を含めた両国のまちづくりを通じて、いかに賑わいを創出し、区を活性化していくかを最大の眼目とする。

■医療費の適正化は喫緊の課題である。新年度内に重症化予防と合わせて、頻回受診や重複診療指導を導入すること。

■保育所待機児童ゼロを目指し、2年間で当初予定の590人の保育定員数の拡大が図れるよう求める。

■学級崩壊に対応するガイドラインを策定するなど、教育委員会主導の対応ができる仕組みをつくること。

■墨38系都営バスの撤退に伴う代替準備をすること。

反対 日本共産党

■アベノミクスにより景気が良くなっているかのように宣伝されているが、日本経済の実態は、家計消費や設備投資が低迷し、賃金も減少している。このような中で、消費税増税が强行されれば、暮らしに大打撃となり、区内中小零細業者にとっても、致命的な影響となる。

■今こそ区民にとって最も身近な区政が、悪政の防波堤となり、暮らしや営業を守るために全力をあげることが強く求められている。しかし、区長は消費税増税や社会保障の改悪を容認し、予算案の中には、区民の負担軽減を図る施策や貧困対策はほとんど見られない。

■すみだ北斎美術館の建設など、不要不急な事業を見直すことで財源を確保し、区民の負担軽減策を中心とした予算組替え案を提案したが、区民の暮らしを応援する区政への転換を強く求める。

賛成 地域連合「すみだの絆」

■東武伊勢崎線第2号踏切の立体化に関しては推進の立場であり、スカイツリー周辺地区のまちづくりの核となる事業としての事業展開を望んでいる。関係機関と粘り強く交渉してほしい。

■学校トイレの改修については、今後3年間で改修を行うという区長答弁を評価し、スピード感をもつて対応していくよう強く要望する。

■平和施策については、「平和福祉都市づくり宣言」をした自治体らしい施策展開を望むとともに、平和首長会議への参加も検討してほしい。

■すみだ環境ふれあい館大規模改修事業費については不透明な点も多く、抜本的な改善を求めるとともに、議会へのより丁寧な説明を求める。

■適切なタイミング、きめ細かい気配りのもとで予算執行し、より効果の上がる施策展開を要望する。

賛成 民主クラブ

■すみだ北斎美術館については、北斎基金を設置することや、建築費・運営費の圧縮等、区民の負担を極力抑えるための最大限の努力を引き続きお願いする。

■すみだ環境ふれあい館大規模改修事業費については、議会への説明責任を果たすこと。また、予算執行に当たっては、改めて議会に諮ることなどについて配慮するよう要望する。

賛成 みんなの党

■交差点の交通事故対策を一層推進してほしい。

■高齢者の財産を守るための対策を強化してほしい。

■子どもの貧困・児童虐待・いじめ対策など、子どもたちへの支援充実を要望する。

■病気や介護の予防に力を入れる必要がある。高齢者対策において、介護予防を重視してほしい。



主な質疑

すみだ北斎美術館建設に関する要望に対する区長答弁を求める

問

この間の予算審議の中でも、すみだ北斎美術館建設に関して、施設の管理運営費の圧縮、財政負担軽減のための寄付金集め、運営計画の緻密化を強く求めてきた。この点に関して、改めて区長からの答弁を求める。

答

総工費は資材の高騰等による増は除き1億6500万円圧縮しているところである。管理運営費も1億円ほどに圧縮する。また、区民負担の軽減・圧縮に努め、5億円を目標に寄付金を集めたいと思っている。さらに、両国観光まちづくりブランドデザインの中にすみだ北斎美術館も取り入れ、一体的なまちづくりを進めていきたいと考えている。

すみだ環境ふれあい館大規模改修事業費は一旦凍結と考えてよいか

問

すみだ環境ふれあい館の大規模改修事業費については、改修の内容が明確になっていない。実施設計経費は一旦凍結と考えて良いのか。

答

議会に対して、施設の改修の考え方を示さずに実施設計経費を予算計上したことについては申し訳なく思っている。予算執行を保留し、その間に議会との意見調整をしたい。

小・中学校のトイレ改修計画について

問

小・中学校のトイレの改修計画について、改めて明確な区長答弁を求める。

答

トイレのドライ化だけではなく、臭気だけでも改善できるよう、改修計画の作成を指示した。残り15校あり、できれば3年で改修・改善していきたい。

平成26年度墨田区一般会計予算に関する付帯決議

1 すみだ環境ふれあい館について

(1) 議会報告について

すみだ環境ふれあい館については、3階、4階の利用方法が定まらない中で、ランニングコストの計算もなく予算を提案してくることは、公共施設マネジメントという概念からは大きく乖離し、厳しく糾弾されるべきことである。その観点から、すみだ環境ふれあい館については、そもそも審議に値するものではなく、改めて新計画の下で区議会に報告を求める。

(2) 執行凍結について

上記について議会の理解を得られるまで、区長において執行凍結を求める。

2 すみだ北斎美術館について

(1) 寄付金について

そもそも、すみだ北斎美術館の建設には、区民の中にもまた区議会の中にも賛否両論があり、財政負担への影響を最小限にするために私たちは寄付金を集めることを求めた。このことを区長は重く受け止めるべきである。

この観点から、区長が区議会で言明した、すみだ北斎美術館建設に当たっての5億円の寄付金を、開館までに行うよう求める。同時にこの5億円の寄付金について、今定例会中に、区長は歳入補正する補正予算案を提出することを求める。

また、①寄付金の募集及び応募件数、②実際の収納状況について、平成26年度から開館まで、各月別に定例会ごとに区議会に報告することを求める。

寄付金5億円の根拠は、いまだ漠たるものとなっており、苦渋の決断で予算案には賛成するものの、平成26年第2回定例会までに、①寄付金募集の主体となる寄付金募集委員会の構成員、②寄付金募集に当たった月の別目標額、③募集対象者等、を明記した事業計画を区議会に提出することを求める。

(2) 運営計画について

年間入館者数や経済波及効果の推計となる根拠が極めて漠たるものとなっ

ている。平成26年度中に、付帯決議に賛成した各会派と相談の上、管理運営の方法や開館後50年先を踏まえた維持改修計画を含めた、より精緻化された運営計画を提出することを求める。この提出に当たっては、その状況報告を随時、各定例会へ行うことを求める。

併せて、今予算特別委員会の中で区長側から指定管理料1億円以内という数字が出されたが、そもそも管理運営についての方向性は区議会と一致をみていないことを確認する。管理運営がいずれの方向としても、年間運営費は1億円という指標を遵守することを求める。

これらを踏まえ、運営に当たっては、この運営費及び年間維持費を入館料収入や寄付金で集めることを求め、区費負担の大幅な軽減を行うことを求める。

(3) すみだ北斎美術館を中心としたまちづくり計画について

本来、すみだ北斎美術館は、区民の理解を得て区民が求める形でつくられるべき施設である。残念ながら、このことは達成されておらず、区民からは懸念の声があることも事実である。これはひとえに、区長の責任が問われなければならない。

すみだ北斎美術館はその建設自体が目的ではなく、①地域経済を含めた区全体への波及効果、②両国観光まちづくりブランドデザインを含めた両国から錦糸町に至るエリアのまちづくり計画、を踏まえた計画とすべきである。これについては、①経済波及効果(北斎作品の版權に関する区内業者への貸出状況及びこれを商品化したことによる売上高の把握を含む)、②まちづくりの具体的なプラン、をまず平成26年第2回定例会に提示することを求め、必要に応じて、定例会ごとに区議会に報告することを求めていく。

以上、決議する。

平成26年第1回定例会 議決議案等と各会派等の賛否の状況									○賛成	×反対
件 名			会派名 () 内は会派所属議員数						議決結果	
			自民党	公明党	共産党	きすな	民主ク	墨田オ		
			(14)	(7)	(5)	(3)	(1)	(1)		
区長提出議案	報告	地方自治法第179条第1項の規定に基づき処分した平成25年度墨田区一般会計補正予算の報告及び承認について	○	○	○	○	○	○	○	承認
	予算	平成25年度墨田区一般会計補正予算	○	○	×	○	○	×	○	可決
		平成25年度墨田区国民健康保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成25年度墨田区介護保険特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成25年度墨田区後期高齢者医療特別会計補正予算	○	○	○	○	○	○	○	可決
		平成26年度墨田区一般会計予算	○	○	×	○	○	×	○	可決
		(平成26年度墨田区一般会計予算に対する付帯決議)	○	○	×	×	×	×	○	可決
		平成26年度墨田区国民健康保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
		平成26年度墨田区介護保険特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
		平成26年度墨田区後期高齢者医療特別会計予算	○	○	×	○	○	○	○	可決
		平成26年度墨田区一般会計補正予算	○	○	×	○	○	×	○	可決
	条例	墨田区附属機関の設置に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区手数料条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区行政委員会の委員及び非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区教育委員会教育長の給料等及び勤務に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区職員定数条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	×	○	可決
		墨田区人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区水と緑のまちづくり基金条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区コミュニティ会館条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
		墨田区地域集会所の管理運営に関する条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
		墨田区北斎基金条例	○	○	×	○	○	×	○	可決
		墨田区青少年問題協議会条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
		墨田区高齢者個室借上げ住宅条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区公衆便所に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区公害健康被害認定審査会条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	×	○	○	○	○	可決
		墨田区保育所条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
	契約	八広保育園改築工事請負契約の一部変更について（議案第25号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
		八広保育園改築工事請負契約の一部変更について（議案第33号）	○	○	○	○	○	○	○	可決
	人事	墨田区監査委員選任の同意について	○	○	○	○	○	○	○	同意
	その他	墨田区営住宅の使用料等に係る債権の放棄について	○	○	○	○	○	○	○	可決
		損害賠償の額の決定について	○	○	○	○	○	○	○	可決
		東京都後期高齢者医療広域連合規約の変更に係る協議について	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案	条例	墨田区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	可決
		墨田区就学援助費支給条例	×	×	○	×	×	×	×	否決
		墨田区商店リフォーム等助成条例	×	×	○	×	×	○	×	否決
	意見書	ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
		食の安全・安心の確立に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願・陳情	陳情	介護予防給付からの要支援者の除外反対に関する陳情	×	×	○	×	×	○	×	不採択
		ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情	○	○	○	○	○	○	○	採択

【次の会議日程（予定）】

今号から紙面を2ページ増やして、内容を充実しました。

	会 議 名	開会時間	傍聴席	
5月14日（水曜日）	議会運営委員会	午前11時	17階	
5月22日（木曜日）				
5月23日（金曜日）	本会議（第1回臨時会）	午後1時	19階	
6月 5日（木曜日）	議会運営委員会	午後2時	17階	
6月11日（水曜日）		午前11時		
6月12日（木曜日）	本会議（第2回定例会初日）	午後1時	19階	
6月13日（金曜日）	本会議	午後1時		
6月17日（火曜日）				
6月19日（木曜日）	区民文教委員会	17階		
6月20日（金曜日）	福祉保健委員会			
6月23日（月曜日）	産業都市委員会			
6月25日（水曜日）	企画総務委員会			
6月27日（金曜日）	議会運営委員会		午前11時	
6月30日（月曜日）	本会議（第2回定例会最終日）	午後1時	19階	

会派等の所属議員

略 称	会 派 名 等	所属議員名（五十音順）
自 民 党	墨田区議会自由民主党	沖山 仁、加藤 拓、坂下 修、佐藤 篤、しもむら緑、瀧澤良仁、田中邦友、出羽邦夫、中沢えみり、西原文隆、林 恒雄、樋口敏郎、福田はるみ、山本 亨
公 明 党	墨田区議会公明党	おおこし勝広、加納 進、じんの博義、高橋正利、千野美智子、とも宣子、広田充男
共 産 党	日本共産党墨田区議会議員団	かたくら洋、鈴木順子、高柳東彦、西 恭三郎、はらつとむ
き す な	地域連合「すみだの絆」	田中 哲、西村孝幸、細田一夫
民 主 ク	民主クラブ	あべきみこ
墨 田 オ	墨田オンブズマン	大瀬康介
み ん な	みんなの党	井上ノエミ

※この会議日程は予定ですので、変更が生じる場合があります。